学校図書館だより

東広島市立黒瀬中学校図書館　令和7年6月号

「雨の降る日は読書の日」

梅雨の季節となりました。雨だと外出するのも億劫（おっくう）になりますね。
そんな時は、室内でゆったり読書を楽しみませんか？

6月11日は「学校図書館の日」

1997年6月11日に12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置が義務化されたことが由来です。また東広島市ではすべての中学校に学校司書が配置されています。

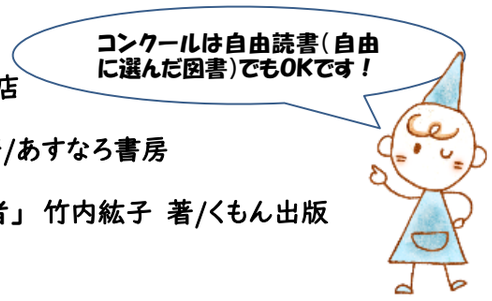
読みたい本が見つからないとき、どんな本を読もうか迷っているとき、気軽に学校司書に声をかけてください。

第71回　青少年読書感想文全国コンクール

主催/ 公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/ 文部科学省・こども家庭庁 協賛/サントリーホールディングス株式会社

読書感想文を書いてみませんか？

課題図書が決定しました！ 学校図書館にも配置する予定です。
＜中学生の部＞は以下の3冊です。



★「わたしは食べるのが下手」 天川栄人 作/小峰書店

★「スラムに水は流れない」 ヴァルシャ・バジャージ 著/あすなろ書房

★「鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者」 竹内絋子 著/くもん出版

5月の貸出利用状況

第1学年　363冊　　第2学年　127　冊　　第3学年　80冊

合計　570　冊でした。

雨が多い季節です。本を濡らさないように注意してください。

6月の展示

「6月23日は沖縄慰霊の日」

住民を中心におよそ20数万人もの犠牲者をだした沖縄戦が6月23日に終結しました。これにちなみ、1961年から実施されました。沖縄のことを学んでみませんか？

＜おすすめ図書＞

・「少年少女世界ノンフィクション　ひめゆり部隊のさいご」 金城和彦 著/偕成社 1966
師範学校女子部と第一高等女学校の従軍記録。日本の勝利を信じ、自分の命を顧みず傷ついた兵隊たちを看護する女学生たちの戦いが記されている。他に、各中学校ごとに編成された男子学徒隊の従軍記録や疎開する学童を乗せた対馬丸の爆沈、わが子をしのぶ母の手記なども掲載されている。悲惨な沖縄戦を知ることができる一冊。

・「いまこそ知りたい！ 沖縄が歩んだ道　全3巻」 新城俊昭 監/汐文社 2022
「琉球・沖縄の歴史」「沖縄に残る戦争遺跡と米軍基地」「世界遺産になった沖縄の文化と自然」の全3巻。琉球王国の時代、戦場となった沖縄、日本から切り離された戦後、沖縄の全てをいろいろな視点から学ぶことができる。

「防災意識を高めよう！ 防災の本」

日本は地理的に自然災害が発生しやすい場所です。それに加え、近年は異常気象による大雨災害も増加しています。日頃から備えることはとても大切です。「防災」の本で学びましょう。

＜おすすめ図書＞

・「地球防災ラボ　実験でしくみを知って、命を守る」 東北大学災害科学国際研究所 著/岩崎書店 2022
地震・水害・土砂災害…。災害とは何か、発生のしくみ、防災についてなどを Q&A 方式で問題提起し、図や写真を使ってわかりやすく解説してくれる。最後に防災クイズでしっかり復習することもでき、楽しく学ぶことができる。

・「子どものための防災 BOOK　72時間生きぬくための101の方法」 夏緑 著/童心社 2012
災害が発生し助けがくるまでの72時間を、自分自身の力で乗り越える方法をわかりやすく教えてくれる。まずは★マークの見出しを読んでみて！ 災害発生時、すぐにとるべき重要な行動が記されている！

「国語の教科書で紹介された本」

国語の教科書を見るたびに気になっていた図書もあったのでは？ 学年ごとに分けて展示しています。手に取ってみてください。